

# 工事計画認可申請書

原管発官 R2 第 138 号

令和 2 年 9 月 25 日

経済産業大臣 殿

原子力規制委員会 殿

東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番 3 号  
東京電力ホールディングス株式会社  
代表執行役社長 小早川 智明

電気事業法第 47 条第 1 項の規定により別紙工事計画書のとおり工事の計画の認可を受けたいので申請します。

本資料のうち、枠囲みの内容は、  
商業機密あるいは防護上の観点  
から公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所  
第7号機

工事計画認可申請書本文及び添付書類

東京電力ホールディングス株式会社

## 申請範囲

今回の申請範囲は、柏崎刈羽原子力発電所第7号機の次の部分であります。

### (一) 原子力設備

#### 1 原子炉本体

1 炉型式，定格熱出力，過剰反応度及び反応度係数（減速材温度係数，燃料棒温度係数，減速材ボイド係数及び出力反応度係数）並びに減速材の名称，種類及び組成

#### 2 炉心

(1) 炉心形状，格子形状，燃料集合体数，炉心有効高さ及び炉心等価直径

(2) 燃料の種類，燃料集合体平均濃縮度又は富化度，燃料集合体最高燃焼度及び燃料の最大装荷量

(3) 燃料材の最高温度

#### 5 放射線管理設備

##### 2 換気設備

##### 2.1 中央制御室換気空調系

##### 2.1.1 中央制御室換気空調系

###### (1) 送風機

a. 中央制御室送風機（6,7号機共用）

b. 中央制御室再循環送風機（6,7号機共用）

###### (2) 排風機

a. 中央制御室排風機（6,7号機共用）

###### (3) フィルター

a. 中央制御室再循環フィルタ装置（6,7号機共用）

#### 7 原子炉格納施設

##### 1 原子炉格納容器

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部

a. 配管貫通部

(a) 直結型

b. 電気配線貫通部

##### 3 圧力低減設備その他の安全設備

(7) 可燃性ガス濃度制御設備

(7.2) 可燃性ガス濃度制御系

イ 再結合装置

a. 可燃性ガス濃度制御系再結合装置

ロ ブロワ

- a. 可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ
- ハ 加熱器
- a. 可燃性ガス濃度制御系再結合装置加熱器
- チ 主配管

柏崎刈羽原子力発電所第7号機  
工事計画認可申請書本文及び添付書類  
目 録

- I 工事計画書
- II 工事工程表
- III 変更を必要とする理由を記載した書類
- IV 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日を記載した書類
- V 添付書類

# I 工事計画書

## I 工事計画書

### 一 発電所

#### 1. 発電所の名称及び位置

名 称 柏崎刈羽原子力発電所  
位 置 新潟県柏崎市及び刈羽郡刈羽村

#### 2. 発電所の出力及び周波数

出 力	8,212,000kW
1号機	1,100,000kW
2号機	1,100,000kW
3号機	1,100,000kW
4号機	1,100,000kW
5号機	1,100,000kW
6号機	1,356,000kW
7号機	1,356,000kW (今回申請分)
周波数	50Hz

(一) 原子力設備

1 原子炉本体

沸騰水型原子力発電設備に係るものにあつては、次の事項

- 1 炉型式、定格熱出力、過剰反応度及び反応度係数（減速材温度係数、燃料棒温度係数、減速材ボイド係数及び出力反応度係数）並びに減速材の名称、種類及び組成

			変 更 前	変 更 後
炉	型 式	—	濃縮ウラン，軽水減速， 軽水冷却型（沸騰水型）	変更なし
	定 格 熱 出 力 <sup>*1</sup>	MW	3926（原子炉定格熱出力）	
	過 剰 反 応 度	Δk	0.14 以下	
反 応 度 係 数	減速材温度係数	(Δk/k)/°C	$-0.11 \times 10^{-3} \sim$ $-0.28 \times 10^{-3}$ (高温，ボイドなし)	$-0.11 \times 10^{-3} \sim$ $-0.20 \times 10^{-3}$ (高温，ボイドなし) <sup>*2</sup>
	燃料棒温度係数 <sup>*3</sup>	(Δk/k)/°C	$-1.56 \times 10^{-5} \sim$ $-2.13 \times 10^{-5}$ (運転状態— 原子炉定格出力時)	$-2.01 \times 10^{-5} \sim$ $-2.13 \times 10^{-5}$ (運転状態— 原子炉定格出力時) <sup>*2</sup>
	減速材ボイド係数	(Δk/k)/%ボイド	$-0.52 \times 10^{-3} \sim$ $-0.84 \times 10^{-3}$ (運転状態— 原子炉定格出力時)	$-0.78 \times 10^{-3} \sim$ $-0.84 \times 10^{-3}$ (運転状態— 原子炉定格出力時) <sup>*2</sup>
	出力反応度係数	(Δk/k)/(Δp/p)	-0.036 以下 (運転状態— 原子炉定格出力時)	-0.037 以下 (運転状態— 原子炉定格出力時) <sup>*2</sup>

			変 更 前	変 更 後
名	称		軽水減速材 <sup>*4</sup>	変更なし
種	類	—	軽水	
組	成	—	導電率 1 μS/cm 以下	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱出力」と記載。

\*2：電気事業法の規定に基づき，本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

\*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料棒温度係数（ドップラ係数）」と記載。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

2 炉心に係る次の事項

(1) 炉心形状（チャンネルボックスの主要寸法及び材料を付記すること。）、格子形状、燃料集合体数、炉心有効高さ及び炉心等価直径

		変 更 前		変 更 後	
炉 心 形 状	—	円柱状 (8×8型燃料集合体形状, チャンネルボックス付き)	円柱状 (9×9型燃料集合体形状, チャンネルボックス付き)	廃止*2	変更 なし
格 子 形 状	—	N 格子			
燃料集合体数	—	872			
炉心有効高さ	mm	□			
炉心等価直径	mm	□			

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円柱状（8×8型及び9×9型燃料集合体形状、チャンネルボックス付き）」と記載。

\*2：電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

チャンネルボックス

			変 更 前*3	変 更 後
主 要 寸 法	断 面 内 寸 法	mm	□	変更なし
	板 厚	mm	□ (□*4)	
材	料	—	ジルカロイ-4	

注記\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4：公称値を示す。

- (2) 燃料の種類，燃料集合体平均濃縮度又は富化度（初装荷及び取替の別に記載すること。）  
 ），燃料集合体最高燃焼度（初装荷及び取替の別に記載すること。）及び燃料の最大装荷量

		変 更 前		変更後	
種	類	—	二酸化ウラン焼結ペレット及びガドリニア 混合二酸化ウラン焼結ペレット ジルカロイ-2（ジルコニウム内張）管被覆		変更 なし
燃料集合体 平均濃縮度*1	取替燃料	wt%	取替燃料タイプ 1 （高燃焼度 8×8 燃料）	約 3.5	廃止*2
			取替燃料タイプ 2 （9×9 燃料（A 型））	約 3.8	変更 なし
燃料集合体 最高燃焼度*3	取替燃料	燃料材*4	取替燃料タイプ 1 （高燃焼度 8×8 燃料）	65000*5	廃止
			取替燃料タイプ 2 （9×9 燃料（A 型））	75000*5	変更 なし
		燃料要素*4	取替燃料タイプ 1 （高燃焼度 8×8 燃料）	57000*5	廃止
			取替燃料タイプ 2 （9×9 燃料（A 型））	71000*5	変更 なし
		燃料 集合体	取替燃料タイプ 1 （高燃焼度 8×8 燃料）	50000	廃止*2
			取替燃料タイプ 2 （9×9 燃料（A 型））	55000	変更 なし
核燃料物質の最大装荷量*6	t	高燃焼度 8×8 炉心	約 150*7	廃止*2	
		9×9 燃料（A 型）炉心	約 151*7	変更 なし	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「初期濃縮度」と記載。

\*2：電気事業法の規定に基づき，本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

\*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃焼率」と記載。

\*4：核原料物質，核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「装荷量」と記載。

\*7：ウラン装荷量を示す。

(3) 燃料材の最高温度

		変更前		変更後
最 高 温 度	℃	高燃焼度 8×8 燃料集合体	約 1790 (原子炉定格出力時) *1	廃止 *2
		9×9 燃料集合体 (A型)	約 1670 (原子炉定格出力時) *1	変更なし

注記\*1 : ガドリニア混合二酸化ウラン燃料棒の場合。

\*2 : 電気事業法の規定に基づき, 本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

5 放射線管理設備

沸騰水型原子力発電設備に係るものにあつては、次の事項

2 換気設備（中央制御室に設置するもの（非常用のものに限る。）、非常用ガス処理設備として設置するもの及び放射性物質により汚染された空気による放射線障害を防止する目的で給気又は排気設備として設置するもの。一時的に設置する可搬型のものを除く。）に係る次の事項

2.1 中央制御室換気空調系

2.1.1 中央制御室換気空調系

(1) 送風機の名称、種類、容量、主要寸法及び個数並びに原動機の種類、出力及び個数

a. 中央制御室送風機（6,7号機共用）

			変更前	変更後	
名 称			中央制御室送風機 <sup>*1</sup>	中央制御室送風機 (6,7号機共用)	
送 風 機	種 類	—	遠心式	変更なし	
	容 量 <sup>*2</sup>	m <sup>3</sup> /h/個	100000 以上 <sup>*3</sup> (100000 <sup>*4</sup> )		
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		<input type="text"/> <sup>*3, *4</sup>
		吐 出 口 径	mm		<input type="text"/> <sup>*3, *4</sup>
		た て	mm		<input type="text"/> <sup>*3, *4</sup>
		横	mm		<input type="text"/> <sup>*3, *4</sup>
		高 さ	mm		<input type="text"/> <sup>*3, *4</sup>
	個 数	—	2		
	*5 取 付 箇 所	系 統 名	—		中央制御室換気空調系 <sup>*3</sup>
		設 置 床	—		コントロール建屋 T. M. S. L. 17300mm <sup>*3</sup>
溢水防護上の区画番号		—	—	C-2F-3	
溢水防護上の配慮が 必要 な 高 さ		—	—	EL0.00m 以上	
原 動 機	種 類	—	誘導電動機 <sup>*3</sup>	変更なし	
	出 力	kW/個	<input type="text"/> <sup>*3</sup>		
	個 数	—	2 <sup>*3</sup>		
	取 付 箇 所 <sup>*5</sup>	—	送風機と同じ <sup>*3</sup>		
設計上の空気の流入率 <sup>*5</sup>		回/h	0.5 <sup>*3</sup>		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1)中央制御室送風機」と記載。

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「容量（定格流量）(m<sup>3</sup>/h/個)」と記載。

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : 核原料物質, 核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。

b. 中央制御室再循環送風機 (6, 7号機共用)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			中央制御室再循環送風機*1	中央制御室再循環送風機 (6, 7号機共用)	
送風機	種 類	—	遠心式	変更なし	
	容 量*2	m <sup>3</sup> /h/個	8000 以上*3(8000*4)		
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		□*3,*4
		吐 出 口 径	mm		□*3,*4
		た て	mm		□*3,*4
		横	mm		□*3,*4
		高 さ	mm		□*3,*4
	個 数	—	2		
	*5 取 付 箇 所	系 統 名	—		中央制御室換気空調系*3
		設 置 床	—		コントロール建屋 T. M. S. L. 12300mm
溢水防護上の区画番号		—	—	C-1F-7	
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	EL0. 13m 以上	
原 動 機	種 類	—	誘導電動機*3	変更なし	
	出 力	kW/個	□*3		
	個 数	—	2*3		
	取 付 箇 所*5	—	再循環送風機と同じ*3		
設計上の空気の流入率*5		回/h	0.5*3		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(3)中央制御室再循環送風機」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「容量 (定格流量) (m<sup>3</sup>/h/個)」と記載。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。

(2) 排風機の名称, 種類, 容量, 主要寸法及び個数並びに原動機の種類, 出力及び個数

a. 中央制御室排風機 (6, 7 号機共用)

			変更前	変更後	
名称			中央制御室排風機*1	中央制御室排風機 (6, 7 号機共用)	
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量*2	m <sup>3</sup> /h/個	5000 以上*3 (5000*4)		
	主要寸法	吸込口径	mm		<input type="text"/> *3,*4
		吐出口径	mm		<input type="text"/> *3,*4
		たて	mm		<input type="text"/> *3,*4
		横	mm		<input type="text"/> *3,*4
		高さ	mm		<input type="text"/> *3,*4
	個数	—	2		
	*5 取付箇所	系統名	—		中央制御室換気空調系*3
		設置床	—		コントロール建屋 T. M. S. L. 17300mm
溢水防護上の区画番号		—	—	C-2F-3	
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	EL0.00m 以上	
原動機	種類	—	誘導電動機*3	変更なし	
	出力	kW/個	<input type="text"/> *3		
	個数	—	2*3		
	取付箇所*5	—	排風機と同じ*3		
設計上の空気の流入率*5		回/h	0.5*3		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2)中央制御室排風機」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「容量 (定格流量) (m<sup>3</sup>/h/個)」と記載。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : 核原料物質, 核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。

(3) フィルター（公衆の放射線障害の防止及び中央制御室の従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。）の名称，種類，効率，主要寸法及び個数

a. 中央制御室再循環フィルタ装置（6,7号機共用）

			変更前		変更後
名称			中央制御室再循環フィルタ装置*1		中央制御室再循環 フィルタ装置 (6,7号機共用)
種類	—		高性能粒子 フィルタ*2	よう素用チャコ ールフィルタ	変更なし
*3 効 率	単 体	%	99.97 以上 (0.3 μm 粒子)*2	91 以上 (相対湿度 70%以 下において)	
	総 合	%	99.9 以上 (0.5 μm 粒子)*2	90 以上 (相対湿度 70%以 下において)	
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	[ ] *2, *4		
	吐 出 口 径	mm	[ ] *2, *4		
	た	mm	[ ] *2, *4		
	横	mm	[ ] *2, *4		
	高	mm	[ ] *2, *4		
個	数	—	1*2		
*5 取 付 箇 所	系 統 名	—	中央制御室換気空調系*2		
	設 置 床	—	コントロール建屋 T. M. S. L. 12300mm		
	溢水防護上の区画番号	—	—		C-1F-7
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—		EL0. 13m 以上

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(4)中央制御室再循環フィルタ」と記載。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「能力(%)」と記載。

\*4：公称値を示す。

\*5：核原料物質，核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。

7 原子炉格納施設

沸騰水型原子力発電設備に係るものについては、次の事項

1 原子炉格納容器に係る次の事項

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、主要寸法及び材料

a. 配管貫通部

(a) 直結型

変 更 前										変 更 後									
種 類	個 数	最 高 使 用 圧 力 <sup>*1</sup> (kPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法(mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 圧 力 (kPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法(mm)			材 料	貫 通 部 番 号
					外 径	厚 さ <sup>*2</sup>	長 さ								外 径	厚 さ	長 さ		
貫通部	4	310 <sup>*3</sup>	171	スリーブ			—		X-80 X-81	変更なし	620 <sup>*7,*8</sup>	620 <sup>*7,*8</sup>	200 <sup>*7,*8</sup>	変更なし	変更なし	変更なし	X-81 <sup>*8</sup>		
			104	スリーブ			—		X-240 X-241				200 <sup>*7,*8</sup>					X-241 <sup>*8</sup>	
貫通部	3	310 <sup>*3</sup>	104	スリーブ			—		X-201 X-202 X-203	変更なし	620 <sup>*7,*8</sup>	620 <sup>*7,*8</sup>	200 <sup>*7,*8</sup>	変更なし	変更なし	X-201 <sup>*8</sup> X-202 <sup>*8</sup> X-203 <sup>*8</sup>			
貫通部 (予備)	8	310 <sup>*3</sup>	171	スリーブ					X-90 X-93	変更なし	620 <sup>*7,*8</sup>	620 <sup>*7,*8</sup>	200 <sup>*7,*8</sup>	変更なし	変更なし	変更なし			
				端板			—		X-91										
スリーブ						X-92													
端板				—			X-210B X-210C												
貫通部	8	310 <sup>*3</sup>	104	スリーブ					X-250	変更なし	620 <sup>*7,*8</sup>	620 <sup>*7,*8</sup>	200 <sup>*7,*8</sup>	変更なし	変更なし	X-210B <sup>*8</sup> X-210C <sup>*8</sup>			
端板						—		X-251											
スリーブ																			
端板						—													
貫通部 (予備)	5 (次頁へ続く)	310 <sup>*3</sup>	171	スリーブ					X-112	貫通部 <sup>*15</sup>	変更なし	620 <sup>*7,*8</sup>	620 <sup>*7,*8</sup>	200 <sup>*7,*8</sup>	変更なし	変更なし	— <sup>*15</sup>	変更なし	
端板						—		X-252 X-255	変更なし							変更なし	(削除) <sup>*15</sup>		
貫通部 (予備)	5 (次頁へ続く)	310 <sup>*3</sup>	104	スリーブ							X-252 X-255	変更なし	620 <sup>*7,*8</sup>	620 <sup>*7,*8</sup>	200 <sup>*7,*8</sup>			変更なし	変更なし
				端板			—												

変更前										変更後									
種類	個数	最高使用圧 *1	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号
					外径	厚さ*2	長さ								外径	厚さ	長さ		
貫通部 (予備) *12	(前頁からの続き)	310*3 (kPa)	104	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	□*4, *5, *10	□	X-253	□ 貫通部	変更なし	変更なし 620*7, *8 (kPa)	変更なし 200*7, *8	変更なし			変更なし		
				端板	□*4	(□*5 □*4)	—	□						(削除) *15					
				スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	□*4, *5, *10	□	X-254	変更なし	変更なし								
				端板	□*4	(□*5 □*4)	—	□											
貫通部	4	310*3 (kPa)	104	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	—	□	X-204 X-205 X-206 X-222	変更なし	変更なし 620*7, *8 (kPa)	変更なし 200*7, *8	変更なし			X-204*8 X-205*8 X-206*8 変更なし			
貫通部	9	310*3 (kPa)	171	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	□*4, *5, *16	□*6	X-3	変更なし	変更なし 620*7, *8 (kPa)	変更なし 200*7, *8	変更なし			変更なし			
		端板	□*4	(□*5 □*4)	—	□*15													
		3.43*3 (MPa)	171	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	—	□*6	X-30B X-30C	変更なし	変更なし 200*7, *8	変更なし							
		1.37*3 (MPa)	171	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	—	□*6	X-61 X-62 X-63 X-64	変更なし	変更なし 200*7, *8	変更なし							
310*3 (kPa)	104	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	—	□	X-214 X-221	変更なし	変更なし 620*7, *8 (kPa)	変更なし 200*7, *8	変更なし								
貫通部	2	310*3 (kPa)	171	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	—	□*6	X-82	変更なし	変更なし 620*7, *8 (kPa)	変更なし 200*7, *8	変更なし			変更なし			
			104	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	—	□	X-242			変更なし 200*7, *8	変更なし						
貫通部	3	3.43*3 (MPa)	104	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	—	□*6	X-200B X-200C	変更なし	変更なし 620*7, *8 (kPa)	変更なし 200*7, *8	変更なし			X-200B*8 X-200C*8			
		310*3 (kPa)	171	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	—	□*6	X-740			変更なし 200*7, *8	変更なし			X-740*8			
貫通部	1	0.86*3 (MPa)	171	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	—	□*6	X-69	変更なし	変更なし	変更なし 200*7, *8	変更なし						
貫通部	1	0.98*3 (MPa)	171	スリーブ	□*4	(□*5 □*4)	—	□*6	X-620	変更なし	変更なし	変更なし 200*7, *8	変更なし						

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「最高使用圧力 (kg/cm<sup>2</sup>)」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「呼び厚さ」と記載。

\*3 : SI 単位に換算したものである。

\*4 : 公称値を示す。

- \*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*7 : 重大事故等時における使用時の値。
- \*8 : 核原料物質，核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。
- \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「400A 貫通部」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*10 : 端板含むスリーブ長さを示す。
- \*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「300A 貫通部」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*14 : 当該貫通部については、電気配線貫通部であったものを配管貫通部としたものである。
- \*15 : 電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。
- \*16 : フランジ含むスリーブ長さを示す。



変更前										変更後									
種類	個数	最高使用圧	*1 最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号
					外径	厚さ	長さ								外径	厚さ	長さ		
<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; margin: 0 auto;"></div> 貫通部	7	310*2 (kPa)	171	スリーブ	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *4	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *5 <div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px; margin-top: 2px;"></div> *3, *4)	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6	X-101A X-101B	変更なし	変更なし 620*7,*8 (kPa)	変更なし 200*7,*8	変更なし						
	アダプタ			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *3, *5	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6	X-103B X-104A X-104B X-104G X-104H											
	ヘッド			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *3, *5	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6	X-101C X-101D X-101E X-101F X-101G X-102A X-102B X-102D X-102E X-102F X-102G X-103A X-104C X-104D X-104E X-104F											
	モジュール (ボディ)			—	—	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6												
	スリーブ			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *4	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *5 <div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px; margin-top: 2px;"></div> *3, *4)	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6												
	アダプタ			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *3, *5	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6												
	ヘッド			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *3, *5	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6												
	モジュール (ボディ)			—	—	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6												
	スリーブ			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *4	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *5 <div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px; margin-top: 2px;"></div> *3, *4)	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6	X-102C X-103D											
	アダプタ			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *3, *5	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6												
	ヘッド			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *3, *5	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6												
	モジュール (ボディ)			—	—	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6												
	スリーブ			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *4	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *5 <div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px; margin-top: 2px;"></div> *3, *4)	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6	X-103C											
	アダプタ			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *3, *5	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6												
	ヘッド			<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *3, *5	<div style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 5px;"></div> *3, *5	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6												
	モジュール (ボディ)			—	—	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px;"></div> *6	X-103E											

変更前											変更後								
種類	個数	最高使用圧	*1 最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号
					外径	厚さ	長さ								外径	厚さ	長さ		
貫通部	4	310*2 (kPa)	171	スリーブ	[ ] *3, *4	( [ ] *5 [ ] *3, *4 )	[ ] *3, *5	[ ] *6	X-105A X-105B X-105C X-105D	変更なし		変更なし 620*7, *8 (kPa)	変更なし 200*7, *8	変更なし					
				アダプタ	[ ] *3, *5	[ ] *3, *5	—	[ ] *6											
				ヘッダ	[ ] *3, *5	[ ] *3, *5	—	[ ] *6											
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	[ ] *6											
貫通部 (予備) *9	1	310*2 (kPa)	171	スリーブ	[ ] *3, *4	( [ ] *5 [ ] *3, *4 )	[ ] *3, *5, *10	[ ] *6	X-110	変更なし		変更なし 620*7, *8 (kPa)	変更なし 200*7, *8	変更なし					
	2			端板	[ ] *3, *5	( [ ] *5 [ ] *3, *4 )	—	[ ] *11											
				スリーブ	[ ] *3, *4	( [ ] *5 [ ] *3, *4 )	[ ] *3, *5, *10	[ ] *6											
				端板	[ ] *3, *5	( [ ] *5 [ ] *3, *4 )	—	[ ] *11											
貫通部	2	310*2 (kPa)	104	スリーブ	[ ] *3, *4	( [ ] *5 [ ] *3, *4 )	[ ] *3, *5	[ ] *6	X-300A X-300B	変更なし		変更なし 620*7, *8 (kPa)	変更なし 200*7, *8	変更なし					
				アダプタ	[ ] *3, *5	[ ] *3, *5	—	[ ] *6											
				ヘッダ	[ ] *3, *5	[ ] *3, *5	—	[ ] *6											
				モジュール (ボディ)	—	—	—	[ ] *6											

注：X-112については、電気配線貫通部であったものを配管貫通部に変更することから、配管貫通部に記載。

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「最高使用圧力 (kg/cm<sup>2</sup>)」と記載。

\*2：SI単位に換算したものである。

\*3：公称値を示す。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画の「原子炉格納容器貫通部の基本板厚の強度計算書」による。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 [ ] 」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*7：重大事故等時における使用時の値。

\*8：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。

\*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 [ ] 貫通部 」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*10：端板含むスリーブ長さを示す。

\*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「 [ ] 」と記載。記載内容は、設計図書による。

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(7) 可燃性ガス濃度制御設備に係る次の事項

(7.2) 可燃性ガス濃度制御系

イ 再結合装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、再結合効率、主要寸法、材料及び個数

a. 可燃性ガス濃度制御系再結合装置

			変更前		変更後			
再結合装置	名称		可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 <sup>*1</sup> (6号機設備, 6, 7号機共用)	可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 <sup>*1</sup> (6, 7号機共用)	可燃性ガス濃度制御系再結合装置 <sup>*3</sup>			
	種類	—	熱反応式		— <sup>*2</sup>			
	容量	m <sup>3</sup> /h/個 <sup>*4</sup> [normal]	255 以上 <sup>*5</sup> (255 <sup>*6</sup> )					
	最高使用圧力	kPa	310 <sup>*5</sup>					
	最高使用温度	℃	171 / 777 <sup>*5</sup>					
	再結合効率	%	95 <sup>*5</sup> (入口可燃性ガス濃度 2vol%において)					
	主要寸法	たて	mm	4550 <sup>*5, *6</sup>				
		横	mm	2450 <sup>*5, *6</sup>				
		高さ	mm	1731 <sup>*5, *6</sup>				
	材料	—	SUS304TP <sup>*5</sup>				2	
	個数	—	1 <sup>*7</sup>	1 <sup>*8</sup>				
	*9 取付箇所	系統名	—	可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 A <sup>*5, *10</sup> 可燃性ガス濃度制御系 A 系	可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 B <sup>*5</sup> 可燃性ガス濃度制御系 B 系	可燃性ガス濃度制御系再結合装置 A <sup>*5</sup> 可燃性ガス濃度制御系 A 系	可燃性ガス濃度制御系再結合装置 B <sup>*5</sup> 可燃性ガス濃度制御系 B 系	
		設置床	—	原子炉建屋 <sup>*5, *10</sup> T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 <sup>*5</sup> T. M. S. L. 12300mm	変更なし		
		溢水防護上の 区画番号	—	—		R-1F-12	R-1F-12	
溢水防護上の配慮 が必要な高さ		—	—		EL0. 32m 以上	EL0. 32m 以上		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(3)可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置」と記載。

\*2 : 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 (6号機設備, 6, 7号機共用) は, 7号機の設備として共用しない。

\*3 : 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 (6, 7号機共用) は, 6号機の設備として共用せず, 常設の7号機単独の設備とし, 常設の可燃性ガス濃度制御系再結合装置を可燃性ガス濃度制御系 A 系に新たに1個設置する。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Nm<sup>3</sup>/h/個」と記載。

\*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*6 : 公称値を示す。

\*7 : 記載の適正化を行う。本設備は, 平成4年10月13日付け4資庁第8733号にて認可された工事計画の第7-1-1図「可燃性ガス濃度制御系系統図」にて, 「本可搬式再結合装置(A)は, 第6号機, 第7号機共用

で通常運転時第 6 号機に設置する。」と記載。

\*8 : 記載の適正化を行う。本設備は、平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8733 号にて認可された工事計画の第 7-1-1 図「可燃性ガス濃度制御系系統図」にて、「本可搬式再結合装置(B)は、第 6 号機、第 7 号機共用で通常運転時第 7 号機に設置する。」と記載。

\*9 : 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。

\*10 : 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 (6 号機設備, 6, 7 号機共用) を, 7 号機の設備として使用する場合は系統名及び設置床を示す。

ロ プロワの名称, 種類, 容量, 主要寸法及び個数並びに原動機の種類, 出力及び個数

a. 可燃性ガス濃度制御系再結合装置プロワ

			変更前		変更後				
名称			可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 プロワ (6号機設備, 6,7号機共用) <sup>*1</sup>	可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 プロワ (6,7号機共用) <sup>*1</sup>	可燃性ガス濃度制御系再結合装置プロワ <sup>*3</sup>				
プロワ	種類	—	キャンド形遠心式		— <sup>*2</sup>				
	容量	m <sup>3</sup> /h/個 [normal] <sup>*4</sup>	255 以上 <sup>*5</sup> (255 <sup>*6</sup> )						
	主要寸法	吸込口径	mm	78.1 <sup>*5,*6</sup>					
		吐出口径	mm	78.1 <sup>*5,*6</sup>					
		高さ	mm	1100 <sup>*5,*6</sup>					
	個数	—	1 <sup>*7</sup>	1 <sup>*8</sup>			2		
	取付箇所 <sup>*9</sup>	系統名	—	可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 プロワ A 可燃性ガス濃度制御系 A 系 <sup>*5,*10</sup>			可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 プロワ B 可燃性ガス濃度制御系 B 系 <sup>*5</sup>	可燃性ガス濃度制御系再結合装置 プロワ A 可燃性ガス濃度制御系 A 系	可燃性ガス濃度制御系再結合装置 プロワ B 可燃性ガス濃度制御系 B 系
		設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm <sup>*5,*10</sup>			原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm <sup>*5</sup>	変更なし	
		溢水防護上の 区画番号	—	—			R-1F-12	R-1F-12	
		溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			EL0.32m 以上	EL0.32m 以上	
原動機	種類	—	誘導電動機 <sup>*5</sup>		変更なし				
	出力	kW/個	11 <sup>*5</sup>						
	個数	—	1 <sup>*5,*7</sup>	1 <sup>*5,*8</sup>			2		
	取付箇所 <sup>*9</sup>	—	プロワと同じ <sup>*5</sup>				変更なし		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「a. 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置プロワ」と記載。

\*2 : 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置プロワ (6号機設備, 6,7号機共用) は, 7号機の設備として共用しない。

\*3 : 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置プロワ (6,7号機共用) は, 6号機の設備として共用せず, 常設の7号機単独の設備とし, 常設の可燃性ガス濃度制御系再結合装置プロワを可燃性ガス濃度制御系 A 系に新たに1個設置する。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Nm<sup>3</sup>/h/個」と記載。

\*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*6 : 公称値を示す。

\*7 : 記載の適正化を行う。本設備は, 平成4年10月13日付け4資庁第8733号にて認可された工事計画の第7-1-1図「可燃性ガス濃度制御系系統図」にて, 「本可搬式再結合装置(A)は, 第6号機, 第7号機共用で通常運転時第6号機に設置する。」と記載。

\*8 : 記載の適正化を行う。本設備は, 平成4年10月13日付け4資庁第8733号にて認可された工事計画の第7-1-1図「可燃性ガス濃度制御系系統図」にて, 「本可搬式再結合装置(B)は, 第6号機, 第7号機共用で通常運転時第7号機に設置する。」と記載。

\*9 : 核原料物質, 核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。

\*10 : 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置ブロワ (6号機設備, 6,7号機共用) を, 7号機で使用する場合は系統名及び設置床を示す。

ハ 加熱器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

a. 可燃性ガス濃度制御系再結合装置加熱器

		変 更 前		変 更 後	
名 称		*1 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 加熱器 (6号機設備, 6,7号機共用)		*1 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 加熱器 (6,7号機共用)	
種 類	—	電気式			
容 量	kW/個	□以上*4 (□*5)			
最 高 使 用 圧 力	kPa	310*4			
最 高 使 用 温 度	℃	777*4			
主 要 寸 法	外 径	mm	89.1*4, *5		
	厚 さ	mm	5.5*4, *5		
材 料	—	SUS304TP*4			
個 数	—	1*6	1*7		2
*8 取 付 箇 所	系 統 名	*4, *9 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 加熱器 A 可燃性ガス濃度制御系A系		*4 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置 加熱器 B 可燃性ガス濃度制御系B系	
	設 置 床	*4, *9 原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm		*4 原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—			
				*2 —	
				*3 可燃性ガス濃度制御系再結合装置加熱器*3	
				変更なし	
				可燃性ガス濃度制御系 再結合装置加熱器 A 可燃性ガス濃度制御系 A 系	
				可燃性ガス濃度制御系 再結合装置加熱器 B 可燃性ガス濃度制御系 B 系	
				変更なし	
				R-1F-12	
				R-1F-12	
				EL0. 32m 以上	
				EL0. 32m 以上	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「b. 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置加熱器」と記載。

\*2 : 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置加熱器 (6号機設備, 6,7号機共用) は, 7号機の設備として共用しない。

\*3 : 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置加熱器 (6,7号機共用) は, 6号機の設備として共用せず, 常設の7号機単独の設備とし, 常設の可燃性ガス濃度制御系再結合装置加熱器を可燃性ガス濃度制御系 A 系に新たに1個設置する。

\*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : 記載の適正化を行う。本設備は, 平成4年10月13日付け4資庁第8733号にて認可された工事計画の第7-1-1図「可燃性ガス濃度制御系系統図」にて, 「本可搬式再結合装置(A)は, 第6号機, 第7号機共用で通常運転時第6号機に設置する。」と記載。

\*7 : 記載の適正化を行う。本設備は, 平成4年10月13日付け4資庁第8733号にて認可された工事計画の第7-1-1図「可燃性ガス濃度制御系系統図」にて, 「本可搬式再結合装置(B)は, 第6号機, 第7号機共用で通常運転時第7号機に設置する。」と記載。

\*8 : 核原料物質, 核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。

\*9 : 可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置加熱器 (6号機設備, 6,7号機共用) を, 7号機の設備として使用する場合は系統名及び設置床を示す。

チ 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前 <sup>*1</sup>						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
可燃性ガス濃度制御系	*2 ドライウエル ～ 可燃性ガス濃度制御系再結合装置(A)	—					変更なし	310 <sup>*3</sup>	171 <sup>*3</sup>	<sup>*3,*4</sup> 318.5 /216.3	<sup>*3,*4</sup> 10.3 /8.2	STPT410 <sup>*3</sup>
		—								<sup>*3,*4</sup> 216.3 /114.3	<sup>*3,*4</sup> 8.2 /6.0	STPT410 <sup>*3</sup>
		310 <sup>*5</sup>	171	114.3 <sup>*4,*6,*7</sup> 114.3 <sup>*4</sup>	6.0 <sup>*4,*6,*7</sup> 6.0 <sup>*4</sup>	STPT410 <sup>*6,*7</sup> STPT410 <sup>*8</sup>				変更なし		
	—						310 <sup>*3</sup>	171 <sup>*3</sup>	89.1 <sup>*3,*4</sup>	5.5 <sup>*3,*4</sup>	STPT410 <sup>*3</sup>	
	*2 ドライウエル ～ 可燃性ガス濃度制御系再結合装置(B)	310 <sup>*5</sup>	171	<sup>*4,*7</sup> 165.2 /114.3	<sup>*4,*7</sup> 7.1 /6.0	STPT410 <sup>*7</sup>	変更なし	変更なし				
				<sup>*4,*7</sup> 114.3 <sup>*4,*6,*7</sup> 114.3 <sup>*4</sup>	<sup>*4,*7</sup> 6.0 <sup>*4,*6,*7</sup> 6.0 <sup>*4</sup>	STPT410 <sup>*6,*7</sup> STPT410 <sup>*8</sup>		変更なし				
				<sup>*4,*7</sup> 114.3 /114.3 /114.3	<sup>*4,*7</sup> 6.0 /6.0 /6.0	STPT410 <sup>*7</sup>		変更なし	<sup>*3,*4</sup> 114.3 /— <sup>*9</sup> /114.3	<sup>*3,*4</sup> 6.0 /— <sup>*9</sup> /6.0	変更なし	
				変更なし					<sup>*3,*4</sup> 114.3 /— <sup>*9</sup> /114.3	<sup>*3,*4</sup> 6.0 /— <sup>*9</sup> /6.0	変更なし	
	*10 可燃性ガス濃度制御系再結合装置(A) ～ サプレッションチェンバ	310 <sup>*5</sup>	171	165.2 <sup>*4</sup>	7.1 <sup>*4</sup>	STPT410 <sup>*8</sup>	変更なし					
		—						310 <sup>*3</sup>	171 <sup>*3</sup>	<sup>*3,*4,*6</sup> 165.2	<sup>*3,*4,*6</sup> 7.1 <sup>*3,*4,*6</sup>	STPT410 <sup>*3,*6</sup>
310 <sup>*5</sup>		104	<sup>*4,*7</sup> 165.2 /165.2 /165.2	<sup>*4,*7</sup> 7.1 /7.1 /7.1	STPT410 <sup>*7</sup>	変更なし	変更なし					
			165.2 <sup>*4</sup>	7.1 <sup>*4</sup>	STPT410 <sup>*8</sup>		変更なし					
—						310 <sup>*3</sup>	104 <sup>*3</sup>	<sup>*3,*4,*6</sup> 165.2	<sup>*3,*4,*6</sup> 7.1 <sup>*3,*4,*6</sup>	STPT410 <sup>*3,*6</sup>		
—						310 <sup>*3</sup>	104 <sup>*3</sup>	<sup>*3,*4</sup> 165.2 <sup>*3,*4</sup>	<sup>*3</sup> □ (7.1 <sup>*4</sup> )	SFVC2B <sup>*3</sup>		
—								<sup>*3,*4</sup> 318.5 /165.2	<sup>*3,*4</sup> 10.3 /7.1	SUS304LTP <sup>*3</sup>		
—								変更なし				
*10 可燃性ガス濃度制御系再結合装置(B) ～ フィルタベントドレン移送ライン合流部	310 <sup>*5</sup>	171	165.2 <sup>*4</sup>	7.1 <sup>*4</sup>	STPT410 <sup>*8</sup>	変更なし						
	310 <sup>*5</sup>	104	165.2 <sup>*4</sup>	7.1 <sup>*4</sup>	STPT410 <sup>*8</sup>	変更なし						

変 更 前*1						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (kPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (kPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
可燃性 ガス 濃度 制御 系	*10 フィルタベントドレン移送 ライン合流部 ～ サプレッションチェンバ					可燃性 ガス 濃度 制御 系	フィルタベントドレン移送 ライン合流部 ～ サプレッションチェンバ				
							620*11, *12	200*11, *12	75.0*4, *12	□ (6.95*4)*12	S25C*12
	変更なし 620*11, *12	変更なし 200*11, *12	75.0*4, *12	□ (11.15*4)*12	S25C*12						
	310*3 620*11, *12	104*3 200*11, *12	*3, *4, *6 165.2	7.1*3, *4, *6	*3, *6 STPT410						
	310*5	104	165.2*4	7.1*4	STPT410*8			変更なし			
	—										

注記\*1 : 変更後の記載に合わせるため、既工事計画書の記載から修正を行う。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェルから可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置（通常運転時、可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置が設置されない場合は閉止フランジ）まで」と記載。

\*3 : 電気事業法の規定に基づき、本工事計画認可申請書において手続きを実施するもの。

\*4 : 公称値を示す。

\*5 : SI 単位に換算したものである。

\*6 : エルボを示す。

\*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*9 : 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置（通常運転時、可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置が設置されない場合は閉止フランジ）からサプレッションチェンバまで」と記載。

\*11 : 重大事故等時における使用時の値。

\*12 : 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。

## II 工事工程表

II 工事工程表

	2020 年度							2021 年度			
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
原子炉本体			■						■*		
			◆*				◆*	△*	△*		
			□*								□*
放射線管理設備			■						■*		
			◆*				◆*	△*	△*		
			□*								□*
原子炉格納施設			■						■*		
			◆*				◆*	△*	△*		
			□*								□*

■ : 現地工事期間

■ : 構造、強度又は漏えいに係る試験をすることができる状態になった時

◆ : 原子炉に燃料を装入することができる状態になった時

△ : 原子炉の臨界反応操作を開始することができる状態になった時

□ : 工事の計画に係る全ての工事が完了した時

注記\* : 検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。

### Ⅲ 変更を必要とする理由を記載した書類

### Ⅲ 変更を必要とする理由を記載した書類

平成 24 年 6 月の核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正並びに関連規則等の改正を踏まえた工事に伴い、以下の変更を行う。

- (1) 原子炉本体のうち、燃料について、高燃焼度 8×8 燃料を用いないことから廃止する。
- (2) 放射線管理設備のうち、換気設備の中央制御室換気空調系について、信頼性向上の観点から 6 号機と共用する。
- (3) 原子炉格納施設のうち、圧力低減設備その他の安全設備の可燃性ガス濃度制御系主配管について、信頼性向上の観点から二重化する改造を行う。また、これに伴い、原子炉格納容器の貫通部の改造を行う。
- (4) 原子炉格納施設のうち、圧力低減設備その他の安全設備の可燃性ガス濃度制御系再結合装置について、信頼性向上の観点から常設化する。

IV 核原料物質，核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 43 条の 3  
の 9 第 1 項の認可の申請をした年月日を記載した書類

当該事業用電気工作物に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 43 条の 3 の 9 第 1 項の認可の申請をした年月日は以下の通り。

柏崎刈羽原子力発電所第 7 号機

設計及び工事計画認可申請書番号

原管発官 25 第 226 号（平成 25 年 9 月 27 日）

以下、設計及び工事計画認可申請書の一部補正を行った書類番号

原管発官 30 第 174 号（平成 30 年 12 月 13 日）

原管発官 R1 第 30 号（令和元年 7 月 5 日）

原管発官 R2 第 137 号（令和 2 年 9 月 25 日）

## V 添付書類

「原子力発電工作物の保安に関する省令第 15 条第 1 号の規定に基づく指示について」（平成 25 年 7 月 8 日原規技発第 1307081 号・20130628 商第 22 号）により，原子力規制委員会及び経済産業大臣から添付することを要しない旨指示のあった以下の添付書類については，添付を省略する。

省略した添付書類

- ・ 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書
- ・ 安全設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書
- ・ 放射線管理施設に係る機器の配置を明示した図面及び系統図
- ・ 原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面及び系統図
- ・ 耐震性に関する説明書
- ・ 強度に関する説明書
- ・ 構造図
- ・ 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書
- ・ 品質保証に関する説明書